



天文学の扉を開こう

11月の夜空

秋の1つ星・フォーマルハウト

秋は物寂しい季節だとよく言われますが、星空も少し寂しそうにしています。というのも、全天に21個ある一等星のうち、群馬から見える秋の星座の一等星はたった1つ、みなみのうお座のフォーマルハウトしかないからです。

星占いでおなじみのうお座とみなみのうお座は、ともに秋の星座ですが別の星座です。秋の四辺形(ペガサスの四辺形)の西側(見上げて向かって右側)の2つの星を結んで、南の低い空まで伸ばしてみると、明るい星が1つ輝いています。これが、みなみのうお座のフォーマルハウトです。今の時期なら、オレンジ色に明るく輝く火星から左下の方向に少し離れたあたりを探してみるのもいいかもしれません。

このフォーマルハウト、ちょうどみなみのうお座の口のところで輝いているので、「魚の口」という意味があります。また、まわりに明るい星がなく、秋の星座でただ1つの一等星なので「秋の1つ星」とか、南の低い空にポツンと輝いている様子から「南の1つ星」とも呼ばれています。ちなみに、今井美樹さんのPRIDEという曲の冒頭で「私は今南の1つ星を見上げて誓った」と歌われているのも、このフォーマルハウトのことだそうです。

昨年、南米チリに設置されている電波望遠鏡・アルマによる観測で、フォーマルハウトを取り巻く環の全体像が描き出されました(図)。フォーマルハウトの年齢は4億歳ほどで、生まれたばかりというわけではありませんが、太陽(約46億歳)よりはずっと若い星です。この環は、惑星が生まれている現場ではなく、ある程度出来上がった惑星系の外縁部で^{すいせい}彗星や小天体が互いに衝突したあとの塵やガスでできていると考えられています。



11月のぐんま天文台のイベント

・10日(土) 双眼鏡で天体を探そう

○星図の説明

11月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります(「月」を除く)。



リトルミュージアム

「ぶどう狩りを体験して、ぶどうを作りました！」



あだち なつき ちゃん
「大きくなったら、「ネイルやさん」になりたいです！」



いしかわ りんか ちゃん
「大きくなったら、「アイスやさん」になりたいです！」



くらた ひな ちゃん
「大きくなったら、「洋服を作る人」になりたいです！」



いしべ せな くん
「大きくなったら、「実験をする人」になりたいです！」



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしています(*^_^*) ☎26-7944(直通)



関田 折茂 来知くん(2歳)

僕の名前は未来を知ると書いて「らいち」と読みます。

前を向いて自分の力で未来をきりひらけるよう、たくましく育てほしいと思いを込めて両親が名付けてくれました。お外が大好きで、すべり台をしたり、スライダーに乗ったりするのがとっても楽しいんだよ！僕のお家には色々な生き物がいるんだよ。犬とザリガニやサワガニ、熱帯魚がいて、毎日僕がエサをあげるんだ。とってもかわいいよ！

こちら「9代目緑のふるさと協力隊」

第25期緑のふるさと協力隊

川添 雄斗

高山村に着任して、はや半年が経ちました。夏の陽気もどこかへ行つてしまい、冬の厳しさが近づく頃になりました。もう朝晩はすっかりストーブに頼っています。

皆さんは、地球上の電気がなくなると人々の暮らしはどうなるのかを描いた「サバイバルファミリー」という映画を知っていますか？

いかに私たちの生活に電気が浸透しているのか、どんなものが食べる事が出来るか、道具は何が必要なのかを「ない」という状況を通して見る事が出来る映画です。

この映画を通して生きる知恵と技術を身につけ、工夫した暮らしを知っておくというのはいかに大切であるのかを学ぶ事が出来ました。



着任当初は初めての一人暮らしや活動に戸惑うことが多く、月5万円の支給に最初はこれでやっていけるかと不安な部分がありましたが、村民の方々の支えや、買うのではなく工夫して暮らす知恵を通して生きる力を身につけることが出来たので、ここまで活動を続けられたのだと感じています。

緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori09.jugem.jp/>

集記 編後

統一献立の試食会に参加しました。「同日に、子どもからお年寄りまで大勢の方が高山村の農産物だけで作る献立を食べる」という大きな事業。地元野菜のおいしさは格別です。(2)